## お手入れ

●汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
ベンジンやアルコールなどで拭かないでください。
変色や変形の原因になることがあります。

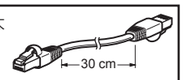
## 保管

●使用後は、電源スイッチを「切」にして、付属の収納袋に入れて保管してください。
●長期間ご使用にならない場合は、電池を取りはずしてください。

## 仕様

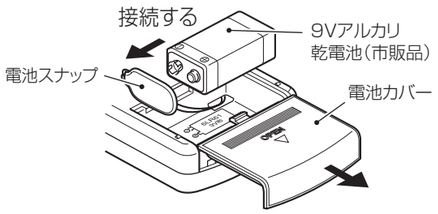
| | |
|---|---|
| 電源 | 9 V アルカリ乾電池 6LR61（市販品） |
| 電池寿命 | 連続10時間以上<br>（1軒あたり10分間使用した場合、約60軒の検査が可能） |
| 使用温度範囲 | 0 ℃～40 ℃ |
| 検査適用電線 | 4対非シールドツイストペアケーブル |
| 検査適用コネクタ | RJ-45コネクタ |
| 検査可能配線長 | 最長　100 m |

**付属品**
- モジュラコード……2本
  （両端8極プラグ付 8心モジュラコード）




- 収納袋……1袋
- 取扱説明書（本紙）……1枚

## 電池の取り付けと交換




### ご注意

- 電池スナップのリード線を無理に引っ張ったり、よじったりしないでください。故障の原因になります。
- 電池は、指定のものをご使用ください。
- 充電用電池は使用しないでください。

## アフターサービス　パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

**■使い方・お手入れ・修理などは、まず工事店へご相談ください。／相談先でお困りの場合は、以下のお客様ご相談窓口にご相談ください。**

**●使いかた・お買い物**
などのご相談は
パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

**●修理・部品**
などのご相談は
パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

### パナソニック お客様ご相談センター
365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
携帯PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「640#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合
**06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル
**0120-878-236**
**Help desk for foreign residents in Japan Tokyo** (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/nationalholidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

### パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401㊎　名古屋☎052-551-7900㊎
東京☎03-5392-7190㊎　福岡☎092-622-0531㊎
※㊎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

**ご相談窓口における お客様の個人情報の お取り扱いについて**

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。


パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒514-8555　三重県津市藤方1668番地


© Panasonic Corporation 2013


8A3G83 0000 1
DC0513DC0


Panasonic

# 取扱説明書

# LAN配線チェッカー

品番　**WTJ7002K**

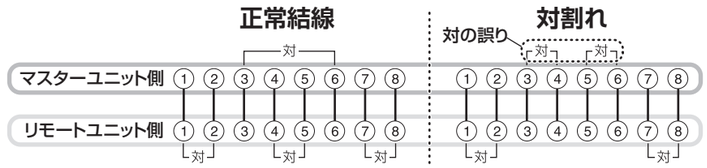
マスターユニット

リモートユニット

■このたびは、パナソニック製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
■電池は市販の9 Vアルカリ乾電池をご用意ください。

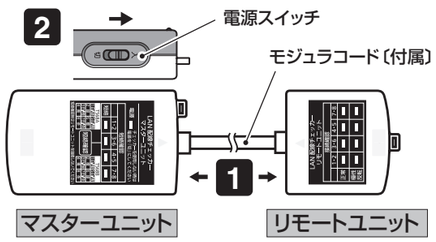
## ご使用いただく前に　必ずお読みください

1. 先行配線された宅内のLAN用配線（4対）の結線状態を点検できます。
   LED表示により各対の正常・短絡・極性反転・接触不良・対の入れ替わりの5つの結線状態が確認できます。
2. LAN配線の伝送特性の確認はできません。伝送特性の確認には、LAN配線専用のテスタが必要です。
3. 対割れは検出できません（LED表示は正常結線表示になります）。対割れはLANの伝送特性が悪くなり、正常な通信ができなくなりますので、LAN配線チェッカーで点検後、結線状態の再点検をおすすめします。




## 動作テスト

※マスターユニットに電池を入れてください。



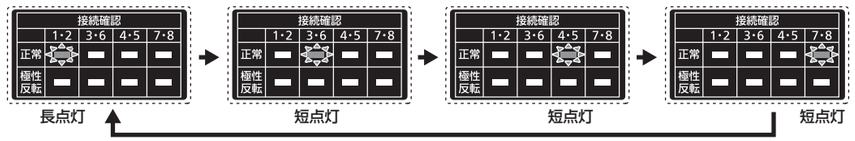

1 マスターユニットとリモートユニットを付属のモジュラコードで接続する

2 マスターユニットの電源スイッチを「入」にする

3 各LEDの点灯状態を確認する

**マスターユニット**
電源LEDが緑点灯します。

**リモートユニット**
正常側のLEDが1-2から順に緑点灯します。




**ご注意**
- ●短絡確認ボタンは押さないでください。
  押している間は誤動作の原因になり、動作テストができません。ボタンを離すと正常に動作テストができます。
  動作テスト中に短絡確認ボタンを押した場合、電池の消耗状態によって短絡表示LEDが赤点灯する場合としない場合がありますが、いずれの場合も異常ではありません。（このとき、リモートユニットの正常状態表示LEDは一斉に緑点灯します）

電源スイッチを「入」にしても、電源LEDが点灯しない、または点滅する場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。
※電池が消耗していても、LAN配線チェッカーが動作することがありますが、LEDの点灯状態が確認できないなど、正しく検査できないことがあります。

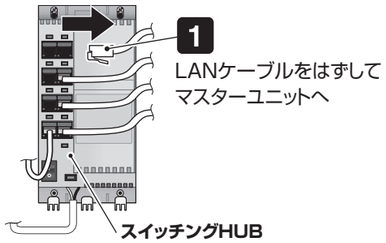
# LAN用配線の確認方法

## 短絡の確認

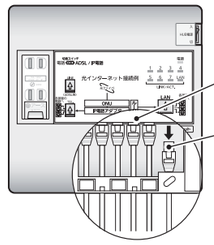
マスターユニットで確認します。(部屋のLAN用コンセントには何も接続しないでください)

**ご注意** 短絡の確認が終わるまでは、リモートユニットを接続しないでください。

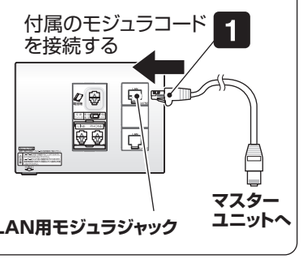
**マルチメディアポート の場合**

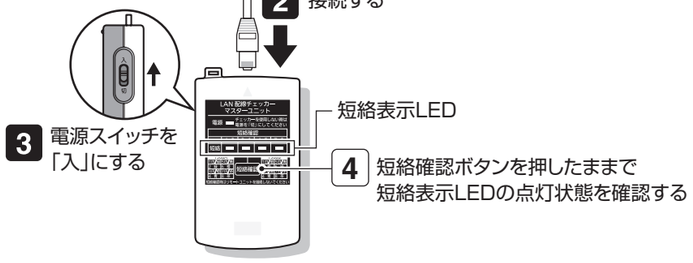



**まとめてねっと の場合**

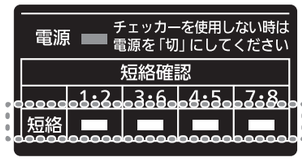



**ひらいてねっと の場合**




**<短絡していないとき>**




点灯なし

**<7と8が短絡しているとき>**

「7・8」が赤点灯

他のLAN用配線についても 1 ～ 4 の手順で同様に確認する

## 接続状態の確認

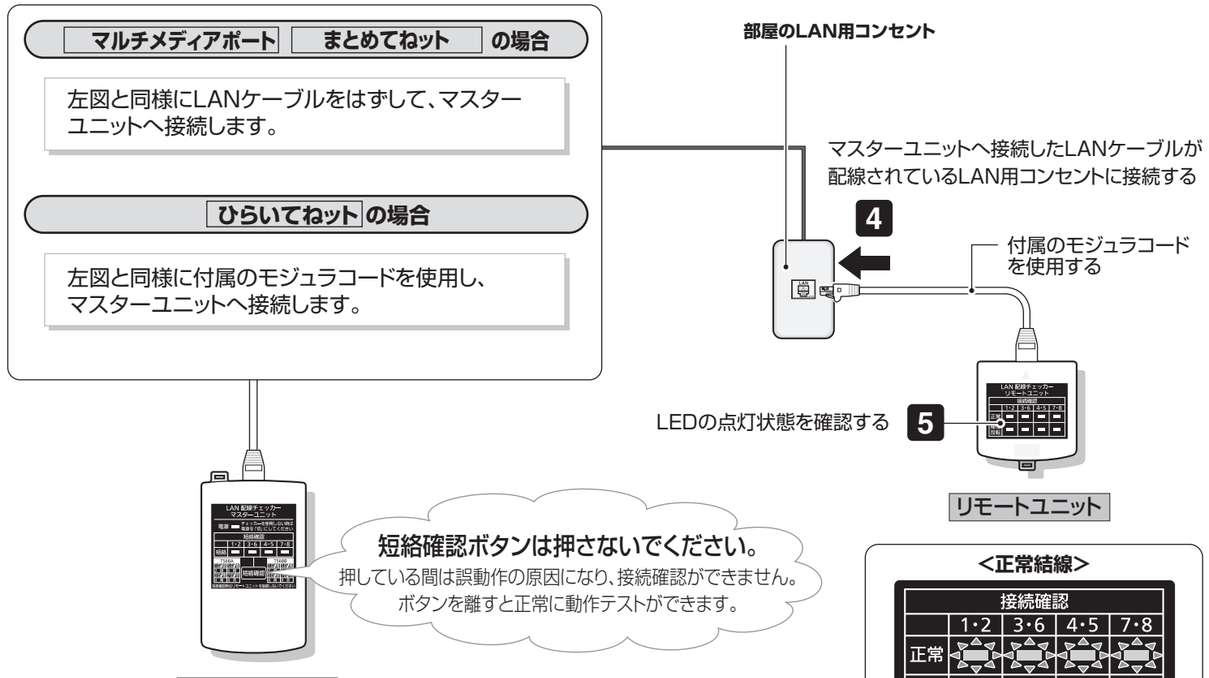
マスターユニットとリモートユニットで確認します。

**マルチメディアポート まとめてねっと の場合**

左図と同様にLANケーブルをはずして、マスターユニットへ接続します。

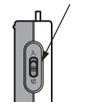
**ひらいてねっと の場合**

左図と同様に付属のモジュラコードを使用し、マスターユニットへ接続します。

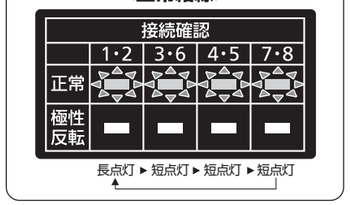



**ご注意**

- LAN配線チェッカーでは伝送特性や対割れの確認はできません。
- 短絡と対の入れ替わりなど重複した誤結線がある場合は、LED表示が正常結線を示すことがあります。
- 電池の消耗を防ぐため、再結線などでLAN配線チェッカーを使用しないときは、電源スイッチを「切」にしてください。



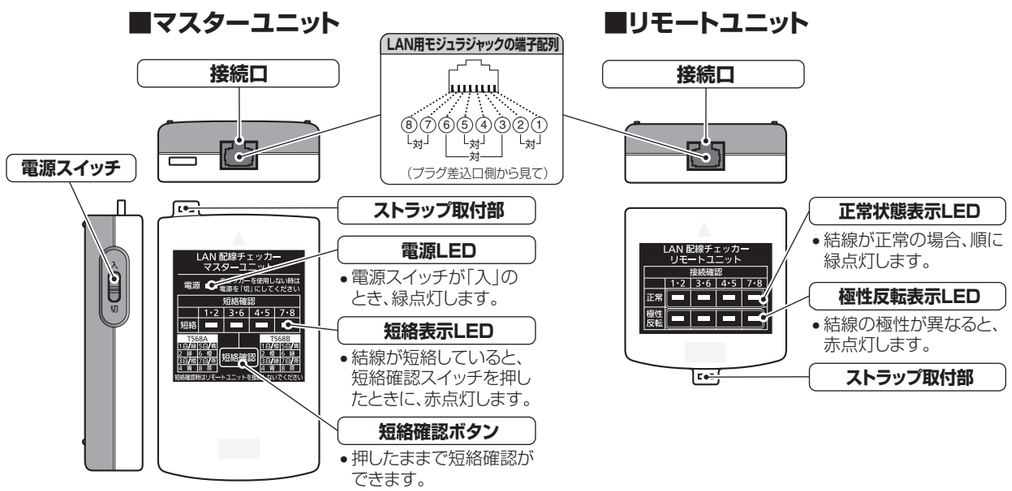

**<正常結線>**




- **正常状態表示LEDが1・2から7・8へ順に緑点灯**
  正しく結線されています。
- **その他の場合**
  下記の「LED表示例」を参照の上、誤結線箇所を確認し、正しく結線してください。

他のLAN用配線についても 1 ～ 5 の手順で同様に確認する

## 各部のなまえとはたらき




## 接続確認のLED表示例

| LED表示 | | 正常状態表示LEDが1・2から順に緑点灯する | 極性反転表示LEDが点灯する | 正常状態表示LEDと極性反転表示LEDのいずれも点灯しない | | 正常状態表示LEDが順に点灯しない |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 結線状態 | | 正常結線 | 極性反転 | 接触不良(または誤結線) | 対を越えた誤結線 | 対の入れ替わり |
| 表示例 | | | ●4と5が入れ替わっている場合 | ●3が接触不良(または3と4が誤結線)している場合 | ●4と6が入れ替わっている場合 | ●1・2と3・6が入れ替わっている場合 |
| | | 長点灯▸短点灯▸短点灯▸短点灯 | 長点灯▸短点灯▸短点灯 | 長点灯▸消 灯▸短点灯▸短点灯 | 長点灯▸消 灯▸消 灯▸点 灯 | 短点灯▸長点灯 短点灯▸短点灯 |
| 結線例 | マスターユニット側 | 対 1 2 3 4 5 6 7 8 | 対 1 2 3 4 5 6 7 8 | 対 1 2 3 4 5 6 7 8 | 対 1 2 3 4 5 6 7 8 | 対 1 2 3 4 5 6 7 8 |
| | リモートユニット側 | 1 2 3 4 5 6 7 8 対 | 1 2 3 4 5 6 7 8 対 | 1 2 3 4 5 6 7 8 対 | 1 2 3 4 5 6 7 8 対 | 1 2 3 4 5 6 7 8 対 |
| 処　置 | | 正常です。次のモジュラジャックに移り、同様に確認を行ってください。 | 極性が入れ替わっている箇所を確認し、正しく結線してください。 | 接触不良(または誤結線)している箇所を確認し、正しく結線してください。 | 対を越えた誤結線の箇所を確認し、正しく結線してください。 | 対の入れ替わっている箇所を確認し、正しく結線してください。 |